

## ※ 11月～12月の家庭菜園

### <11月上旬～中旬>

お正月のお雑煮用の小松菜が、今が播き時です。  
寒さにあたり、肉厚の葉、美味しさも増して来ます。  
株間は3cmに1本になるように早めに間引きをして下さい。  
畦幅は15cmです。  
ほうれん草、漬け菜、ナバナなどは急いで播いて下さい。

### <11月上旬～11月下旬>

・たまねぎの苗、サラダ用の赤いたまねぎが植え時です。  
・15cm間隔に1本ずつ植えて下さい。  
6月には大きなたまねぎが収穫出来ます。  
寒い畑にはビニールを引いて植えると良いです。  
草が出るところでは、黒いビニールは草が出るのを押さえてくれます。

### <11月下旬～12月上旬>

春に一番やわらかい、美味しいキャベツが4月下旬～5月上旬に収穫されます。  
40cm～45cm間隔に1本ずつ植えて下さい。  
品種により4月下旬と5月中旬、6月上旬と収穫が違いますので気を付けて下さい。

### <10月下旬～11月下旬>

大根かぶを播けば、3月には、やわらかい、美味しい大根が収穫されます。  
株間27cm×畦巾45cmにしてマルチングを使用し、ビニールトンネルを掛け、1株に3粒～5粒程度まき早めに間引きを行い、2回ぐらいで1本にします。

### <11月上旬>

ビニールトンネルに「ねぎの種」を2cm間隔に1本になるようにし苗をつくります。  
4月上旬に頃に定植(4月に詳しく書きます)します。  
まだ、ねぎの少ない9月に夏ねぎとして収穫できます。

・12月には、マルチング、ビニールトンネル又暖房資材を詳しく記載します。  
野菜の少ない、1月～3月の収穫を目指します。

・暖冬のおかげで、ビニールトンネル栽培を活用すれば、葉物野菜(小松菜・ほうれん草・中国野菜など)を播く事が出来ます。  
しかし 春早めにとう立ち(花)しますので、小さ目の内から収穫を心掛けて下さい。

### <11月下旬～12月上旬>

春に一番やわらかく美味しいキャベツが4月下旬～5月上旬に収穫できます。  
40cm～45cmに一本ずつ植えて下さい。  
また、品種によっては(購入するときには良くお店に確認が必要)5月下旬～6月上旬に収穫できるものもあります。

### <12月上旬～2月下旬>

大根が資材併用で3月ごろ収穫できます。  
銀ネズ・マルチング、株間45cm、畦巾27cmを使用、厚さ0.05の農業用酢ビフィルムを180cm巾にトンネル掛けし、中に95cm巾の不織布をベタ掛けをします。  
大根種子を3粒播きしまいが、最終には1本にします。  
また、かぶ、人参なども上記の資材で蒔くことが出来ます。  
ただし、マルチングは株間 15cm×畦巾 15cmの穴あきを使用します。  
根菜類はトンネル内の温度を出来るだけ上げることにより、花芽の分化を回避することが出来ます。  
日中も裾は開けずに出来るだけトンネル内の温度を上げて下さい。

### <12月～2月下旬>

小松菜、ほうれん草、中国野菜など、葉物野菜が資材を使用することで、この厳寒期にも蒔くことが出来ます。  
株間 15cm×畦巾 15cm、5列にし、銀ネズマルチングの上に、穴あきトンネル資材を使用します。  
また、ベタ掛け資材を併用することにより早く収穫することも出来ます。